

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	農福連携による就労継続支援A型事業
事業主体 (連絡先)	株式会社アルビスファーム信州なかの 中野市大字中野 1340-1 番地 (事業所)
事業区分	(6) オ 地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業 (6) イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	11,671,042 円 (うち支援金: 6,000,000 円)



#### 事業内容

○H29年7月より福祉サービス事業所(就労継続支援A型)として指定取得後、中野市を中心に障がい者9名を雇用し、就労支援を実施して事業を展開している。

○事業半ばにより農地の拡大と共に農作物の収穫を目的にして、令和元年度の元気づくり支援金では育苗関係を充実させる為に育苗ハウスの設置及び育苗散水用の上水道の確保を行い、また商品移動及び農機具の運搬用に中型トラックの購入を行った。

○中野市在住の農業者を農業サポーターとして営農委託(指導を含む)を実施している。

○引き続き、中野市内の遊休荒廃地に借り受け、玉ねぎの作付けを実施。令和2年春以降も収穫予定としている。



【 事務所内での作業指導 】

#### 【目標・ねらい】

- ① 障がい者の就労の場の開拓
- ② 遊休荒廃地を再生しズッキーニ、たまねぎ等の農作物の栽培

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

○障がい者9名を雇用し農作業を中心に従事する事ができている。初年度以降の経験を元に、作業の流れ、また農作業における体力及び知識を強化して農作業に対する積極的な参加や楽しみを得る事ができた。

○福祉関連事業所等より、弊社の事業の周知ができた。

○一昨年以降からも、遊休荒廃地に借り受け、秋に玉ねぎの作付け及び収穫を行い、また年に2回に分けてのズッキーニの栽培を行う事ができた。

○ズッキーニ、玉ねぎ等を中心に栽培し、当社の親会社である北陸のスーパーマーケットで販売を行い、お客様から好評を得る事ができた。

※自己評価 【 C 】

【理由】

- 職員のマンパワー不足により圃場の除草及び防除等に追いつかなかった。
- 収穫後のタマネギの乾燥も十分に間に合わず、また収穫するコンテナの不足もあって、生産は大幅に減退してしまった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

○令和2年春以降にたまねぎを中心に収穫を行い、北陸地区で販売を実施する。

○令和2年度も継続して、作付面積を増やし、玉ねぎ、ズッキーニも安定して収穫を行っていく。

○障がい者が楽しみを持って農作物を栽培できるように行い、農作業を通して、自信を築き、自立した精神力を養えるように農業サポーターや当社職員が支援を進めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある